

溶存酸素計 簡易取扱説明書

◆測定開始前に必ずスパン校正をしてください。(1日1回で可)

1. スパン校正



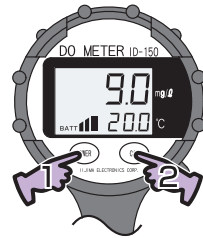
プローブを大気中で温度変化のない場所に30分以上置いてください。
プローブ、ワグニットに水滴が付いている場合は拭き取ってください。

1. **POWER** キーを押して電源を入れます。

2. **CAL** キーを1秒以上長押しします。

『Good』を表示し、数値が出たらスパン校正完了です。

『Good』以外が表示される場合(裏面「こんな時は?」参照)



2. 0リセット

こんな時に必要

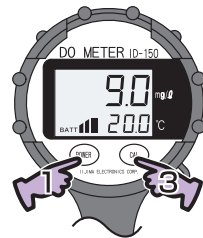
- ・ 誤って測定中に **CAL** キーを押してしまった場合
- ・ マイナス表示が出た場合
- ・ 指示値に異常値が出た場合

1. **POWER** キーを押して電源を入れます。

2. ラバーキャップを反時計回りに回して外し、ワグニットはまっすぐ引っ張って外します。(裏面「ワグニット交換」参照)

3. **CAL** キーを1秒以上長押しします。

『Good』表示された後、0.00mg/Lになれば0リセット完了です。



4. ワグニットを3Pガイドの穴に合わせ、差し込みます。

5. ラバーキャップを取り付けます。

低濃度を正確に測定したい場合は、ゼロ校正をおすすめします。手順は取扱説明書を参照してください。



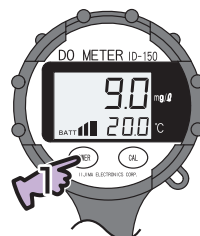
この取扱説明書は簡易版として作成してあります。

操作の詳細、注意事項については製品付属の「取扱説明書」に従ってください。



3. 測定

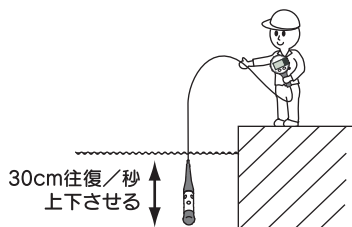
1. 電源が切れている場合は、 キーを押して電源を入れます。



2. プロブ部を測定水に入れ、流速を与えます。

流速の与え方 (取扱WEBページの動画参照)

ケーブルを持ち、プロブ部を水中で約30cm往復/秒 上下させます。

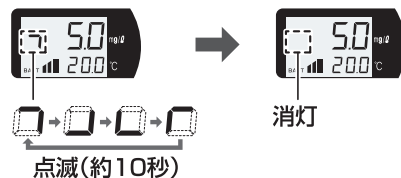


腕を上下に振る感じで、プロブを上下させます。



手首のスナップを利かせて上下させないでください。

3. 『』が点滅から消灯した時点で、指示値を読み取ります。

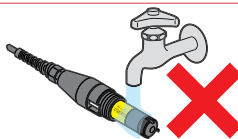


4. 洗浄

◆測定後は必ずプロブ及びワグニットを洗浄してください。



洗浄作業中は蛇口からの水を直接プロブ及びワグニットに当てないでください。先端部の隔膜が破損する恐れがあります。



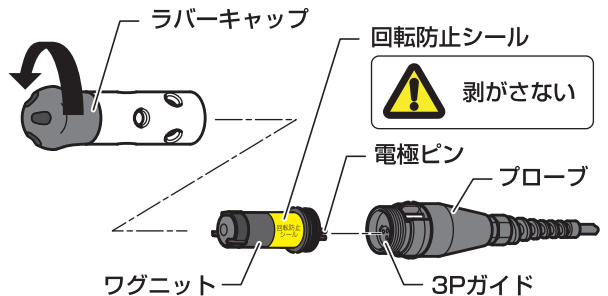
1. ビーカーなどの容器に水道水を入れ、プロブ部を浸け軽く振ります。
2. 乾いたタオルなどで水気を拭き取ります。

ワグニットの交換

❗ プローブ、ワグニットに水滴が付いている場合は、拭き取ってください。

1. ラバーキャップを反時計回りに回して外し、ワグニットはまっすぐ引っ張って外します。
2. 新品のワグニットを3Pガイドの穴に合わせ、差し込みます。

❗ ワグニットに防水性を高めるためのOリングが装着されています。手で押し込んでも反発して戻ってきますが、問題ありません。



3. ラバーキャップを取り付けます。
※ラバーキャップを取り付けることにより、ワグニットは奥まで入ります。

4. スパン校正を実施します。(「1. スパン校正」参照)

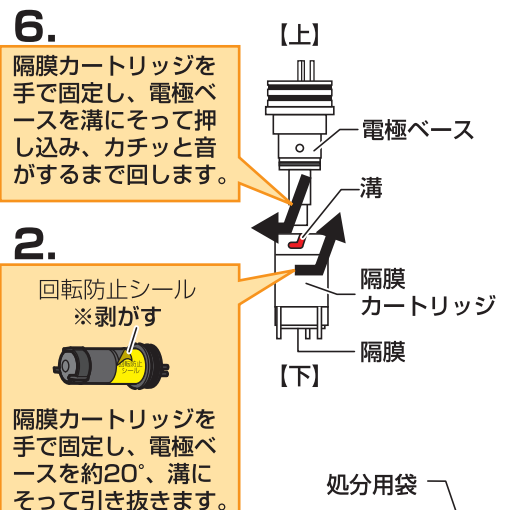
隔膜カートリッジの交換 (取扱WEBページの動画参照)

こんな時に必要

- ・ 隔膜が破れてしまった場合
- ・ 校正時に「Fchh」または「cErr」などのエラーメッセージが頻繁に出た場合
- ・ 測定値が安定しない場合



❗ 作業時は、付属の手袋を必ず着用してください。

1. ラバーキャップを反時計回りに回して外し、ワグニットはまっすぐ引っ張って外します。(「ワグニットの交換」参照)
2. 回転防止シールを剥がし、隔膜カートリッジを下に向けて電極ベースから取り外します。
3. 電解液・隔膜カートリッジを処分用袋に入れ、燃えるゴミとして処分します。
4. 電極部を水道水で洗い流し、ティッシュ等で水気を拭き取ります。
5. 交換用の隔膜カートリッジに電解液を容器に入っている分すべて入れます。
6. 電極ベースに隔膜カートリッジを取り付けます。(上記2の逆順) ワグニットをプローブに取り付け、ラバーキャップも締めます。(上記1の逆順)
7. 約2時間待ち、スパン校正します。(「1. スパン校正」参照)
※緊急の場合、最低30分以上待ってから、実施してください。



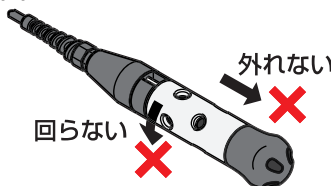
こんな時は？

下記メッセージが表示された場合

液晶表示部	内容
	<p>ワグニット保証期限の残り日数をお知らせする表示です。 (ID-150用ワグニットWA-TXは1年間の保証が付いています。残り日数の表示は30日から始まります。) ※ワグニットを新品に交換すると『LIFE』表示はされなくなります。</p>
	<p>ワグニットの寿命をお知らせする表示です。 1年以上使用している場合、新品のワグニットに交換してください。</p>

当社のセンサーは業界初の1年保証付きです。
 保証期限内でエラーメッセージが表示し、取扱説明書に沿って対処しても症状が改善されない場合、
 故障代替品の用意がございますので弊社までお問い合わせください。

下記状態になった場合

症状	確認	処置
<p>ラバーキャップが外れない・回らない</p> 		<p>バケツに張った水に1時間程度浸けてからラバーキャップを回してみてください。 外れない場合は無理に外そうとせず、弊社へ修理依頼してください。</p>
<p>測定値がいつもと違う。 測定値がゼロになる。</p>	<p>流速は十分に与えていますか？ ワグニット先端に気泡が付いていませんか？</p>	<p>流速がなければ与えてください。 (「3. 測定 流速の与え方」参照) 改善されない場合は測定水をバケツ等に汲み取り、その中にプローブを入れて流速を与えてください。</p>
	<p>プローブ3Pガイド部に水滴が付いていませんか？</p>	<p>取扱説明書を参考にプローブメンテナンスキット(IDMKP51)を使ってメンテナンスを実施してください。</p>